

# 高齢者の食支援に係る地区ワーキング 開催状況

## 1 目的

超高齢社会に突入し、西部健康福祉センター管内においても高齢者（65歳以上）人口は14万人に上っている。

高齢化に伴う機能低下を遅らせるため、低栄養の予防等、良好な栄養状態を維持することが重要である。特に、咀嚼・摂食・嚥下機能の低下した高齢者（以下、「摂食・嚥下機能低下者」）に対しては、物性等を調整した食事が必要であり、栄養アセスメント、計画・実施・評価が必要となってくる。医療・介護・地域（在宅）において連携し、途切れない食支援の推進が必要であり、その体制構築を図るため、各地区の実情に応じた課題に対応することを目指す。

## 2 方法

静岡県西部健康福祉センターの東遠地域（掛川市・御前崎市・菊川市）、中遠地域（磐田市・袋井市・森町）、浜名地域（湖西市）の3地区に分け、ワーキンググループを設置し、検討した。

## 3 ワーキングメンバー

- ・各地区の病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の職員
- ・居宅介護支援事業所・在宅療養支援診療所の管理栄養士
- ・地域包括支援センター・市町職員

#### 4 内容

### 【ワーキング掛川(東遠地域)】

#### 令和元年度

《テーマ1》食形態マップの検討・作成

《テーマ2》高齢者向け低栄養予防啓発資料の作成

実施日	第1回：令和元年7月17日、第2回：10月15日、第3回：12月11日	
出席者	・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士・歯科衛生士 ・地域包括支援センターの主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師 ・市の管理栄養士・栄養士・保健師・事務職	
人数	実29人（延べ78人）	
内容	第1回	(1) 地域における高齢者支援の状況 「栄養情報提供書、嚥下調整食分類について」（菊川市立総合病院） 「多職種連携会議による連携」（御前崎市） 「栄養ケア・ステーションの概要としだはい食支援勉強会の活動」（静岡県栄養士会）  (2) 取組テーマの決定
	第2回	(1) 地域包括支援センターの取組報告 （掛川市西部・東部地域包括支援センター） (2) 地域の高齢者が食に関して困っていること・要望等 (3) 嚥下調整食分類2013について (4) 食形態マップ及び啓発資料の作成
	第3回	(1) 食形態マップ及び啓発資料の完成 (2) 食形態マップ及び啓発資料の活用に向けて

#### 令和2年度

実施日	令和2年11月11日	
出席者	・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士 ・地域包括支援センターの主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師 ・市の管理栄養士・栄養士・保健師	
人数	19人	
内容	(1) 令和元年度高齢者の食支援に係る地区ワーキング取組結果の報告 (2) 情報交換 ・各所属の高齢者支援の状況 ・食支援ツールの活用について (3) 協議事項「地域における高齢者の食支援の推進について」 ・食支援ツール周知・活用 ・食支援ツールを活用した連携 ・他所属や他職種に要望すること・期待すること	

## 【ワーキング磐田(中遠地域)】

### 令和元年度

《テーマ1》食形態マップの検討・作成

《テーマ2》食ることが難しくなった高齢者の食支援のための QA 集の作成

実施日	第1回：令和元年7月30日、第2回：10月17日、第3回：12月17日	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士・栄養士</li> <li>・居宅介護支援事業所・在宅療養支援診療所の管理栄養士</li> <li>・地域包括支援センターの保健師・看護師・社会福祉士</li> <li>・市町の管理栄養士・保健師・看護師</li> </ul>	
人数	実35人（延べ97人）	
内容	第1回	(1) 地域における高齢者支援の状況 「病院治療食の現状」 (磐田市立総合病院) 「栄養情報提供について」 (袋井市立聖隷袋井市民病院) 「栄養ケア・ステーションの概要としだはい食支援勉強会の活動」 (静岡県栄養士会)
	第2回	(2) 取組テーマの決定 (1) 地域の高齢者が食に関して困っていること・要望 等 (2) 報告「第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会」 (袋井みつかわ病院) (3) 嚥下調整食分類2013について (4) 摂食嚥下連絡票について (とりい痛みのクリニック) (5) 食形態マップ及びQA集の作成
	第3回	(1) 食形態マップ及びQA集の完成 (2) 食形態マップ及びQA集の活用に向けて

### 令和2年度

実施日	令和2年11月16日	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士・栄養士</li> <li>・居宅介護支援事業所・在宅療養支援診療所の管理栄養士</li> <li>・地域包括支援センターの保健師・看護師・社会福祉士</li> <li>・市町の管理栄養士・保健師・看護師・事務職</li> </ul>	
人数	15人	
内容	(1) 令和元年度高齢者の食支援に係る地区ワーキング取組結果の報告 (2) 情報交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各所属の高齢者支援の状況</li> <li>・食支援ツールの活用について</li> </ul> (3) 協議事項「地域における高齢者の食支援の推進について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食支援ツール周知・活用</li> <li>・食支援ツールを活用した連携</li> <li>・他所属や他職種に要望すること・期待すること</li> </ul>	

## 【ワーキング湖西(浜名地域)】

### 令和元年度

#### 《テーマ》食形態マップの検討・作成

実施日	第1回：令和元年8月1日、第2回：10月10日、第3回：12月10日	
出席者	・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士・栄養士・看護職員 ・地域包括支援センターの主任介護支援専門員・介護支援専門員 ・市の管理栄養士	
人数	実15人（延べ44人）	
内容	第1回	(1) 取組紹介「栄養ケア・ステーションの概要としたはい食支援勉強会の活動」 (2) 取組テーマの決定 (静岡県栄養士会)
	第2回	(1) 地域の高齢者が食に関して困っていること・要望等 (2) 食形態マップの作成
	第3回	(1) 講話「嚥下障害と食の物性～嚥下調整食学会分類2013～」 (講師：ニュートリー株式会社) (2) 食形態マップの完成 (3) 食形態マップの活用に向けて

### 令和2年度

実施日	令和2年11月19日	
出席者	・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の管理栄養士・栄養士 ・市の管理栄養士	
人数	7人	
内容	(1) 令和元年度高齢者の食支援に係る地区ワーキング取組結果の報告 (2) 情報交換 ・各所属の高齢者支援の状況 ・食支援ツールの活用について (3) 協議事項「地域における高齢者の食支援の推進について」 ・食支援ツール周知・活用 ・食支援ツールを活用した連携 ・他所属や他職種に要望すること・期待すること	

#### 5 主催

静岡県西部健康福祉センター

#### 6 協力

- ・静岡県栄養士会（栄養ケア・ステーション）
- ・静岡県給食協会（磐田支部・掛川支部・浜名支部）

#### 7 その他

令和3年2月8日に「高齢者の食支援のための研修会」を開催し、食支援ツールの具体的な活用について実践報告と、「高齢者の特性を踏まえた食支援による低栄養予防～地域で連携した途切れない食支援を目指して～」をテーマに講演（講師：(独法)地域医療機能推進機構 三島総合病院 栄養管理室 室長 杉山 清子 氏）を行った。